

令和5年度 学校自己評価書

小美玉市立堅倉小学校 校長 吉永 成範

1 今年度の取り組みの概要

- わかる授業とICTの有効活用
- 健康・体力づくり
- 地域とともにある学校づくり
- 自主自立を育む特別活動の推進
- 児童とともに伸びる教員集団づくり

＜達成度 A：十分に達成 B：おおむね達成 C：達成せず D：課題が残る＞

◎ 組織目標 1 についての具体的な取り組み

| 組織目標 1 | 教職員の持ち味をいかし 児童一人一人の可能性を伸ばす | | |
|--|---|--|-----|
| 達成目標 | 具体的な方策 | 実施結果 | 達成度 |
| 基礎・基本の定着と「主体的・対話的で深い学び」の展開 ・授業がわかる 80% | ・かかわり合い学び合う力の育成 ・学習意欲を高める授業の工夫 | ○ 授業において、ICT活用を推進し、一人一人の児童の考え方を可視化することで、学び合いが活性化した。互いの考えを交流することで、新たな気づきや発見のある授業を展開した。 ○ 授業で具体物・実物を用意したり、体験活動を多く取り入れたりすることで意欲を高める工夫をし、児童の主体的な学習活動の充実を図った。 ・授業がわかる 95% | A |
| ICTの「学び」への活用推進 ・タブレット等を進んで活用 90% | ・個別最適な学びの実現 ・思考力・表現力を高めるための活用の工夫 | ○ 自己の考えや調べたことをタブレット上にまとめたり、図示したりする自力解決の時間を確保した。 ○ 思考力・表現力を高めるためにもタブレットを活用し、交流では自分の考えを端的に視覚的にもわかりやすく伝えるツールとして活用を図った。 ・パソコンを使った授業は楽しい 96% | A |
| 家庭学習の充実 ・家庭学習A基準達成 70% | ・自主的な取組を促す指導の工夫 | ○ 基礎基本の定着に向けたパワーアップテストを毎月実施している。高学年では、家庭学習の範囲を1週間分伝え、自ら計画的に見直しをもって取り組めるようにした。 ・家庭学習A基準達成 74% | A |
| 豊かな人間関係の構築 ・友達にやさしく接する 90% | ・いじめゼロのための児童の主体的取組の推進 ・悩みや不安に寄り添う教育相談体制の充実 ・学校生活アンケート（毎月） ・オンライン相談窓口の設置（常時） ・スクールカウンセラーによる・「SOSの出し方」の授業 ・スクールロイヤーによる「いじめ予防教室」の授業 | ○ 児童主体でSTOPいじめ集会を行い、いじめをなくす意識の向上に取り組んだ。 ○ 担任、SCやSSWを活用した相談を実施している。児童の情報共有を職員全体で定期的に行い、いじめやトラブルの早期発見、早期対応に努めた。児童や保護者との関わりを密にして、児童の心に寄り添った対応を行った。 ・友達にやさしく接する 96% | A |
| 自主・自立を育む特別活動の推進 ・学校が楽しい 90% ・自分によいところがある 70% | ・話し合い活動、縦割り班活動の計画的実施（ロング昼休みの活用） ・自己有用感や自尊感情を高める活動の工夫 ・児童が主役の学校行事 | ○ 6年生を中心とした縦割り班活動の実施や行事、係活動、委員会活動での一人一人の役割設定と児童主体の運営を行った。 ・学校生活は楽しい 91% ・自分にはよいところがある 85%（6学年のみ） | A |
| 体育が好きになる指導の工夫 ・体力テストA+B 60% | ・運動の楽しさが味わえる体育科授業の充実 ・体育的行事や外遊びの推奨 | ○ 体育専門の教員をT2に配置し、授業の充実を図った。 ○ 計画的な業間運動を実施した。（持久走・なわとび） ○ 体育カードによる個別の目標を設定し、自己目標の実現に向けて取り組んだ。 ・体力テストA+B 66% | A |

| | | | |
|--|---|---|---|
| <p>基本的な生活習慣の確立</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝自分で起きる児童 60% ・家の人との約束を守る 80% | <ul style="list-style-type: none"> ・早寝・早起き・朝ごはんの推進 ・メディアやインターネットの適切な活用の指導 | <ul style="list-style-type: none"> ○生活振り返りカードを利用して、自己の目標設定をし、意識の向上を図った。 ○メディアやインターネットの適切な指導では、ネット安全教室の実施、親子会議の話し合いで各家庭のルールを決める取組を行った。 ・決めた時間に寝る 62% ・家の人との約束を守る 91% | A |
| <p>教職員の持ち味をいかした教育活動の推進</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・指導力を高める校内研修の推進 ・働き方改革の推進と、児童に向き合う時間の確保 ・服従違反0の実現とメンタルヘルスの確保 | <ul style="list-style-type: none"> ○指導案の共同立案や研究授業の相互観覧を行い、職員全体で研修結果の共有を図った。 ○教員の職務内容の平均化と週時程表の改善、業務効率化推進委員会での提案を実現し、働きやすい職場環境の醸成に努めた。 ○年間計画に沿って、毎月コンプライアンス研修を実施した。 | A |
| <p>地域とともにある学校づくり</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや学校だより、メール配信による情報共有 ・コミュニティ・スクールによる教育活動の推進 ・幼保小連携、小中連携 | <ul style="list-style-type: none"> ○ホームページの随時更新、学校だよりの地区回覧を行い、継続した情報発信を行った。 ○ランドデザインに沿って、地域と学校が連携した教育活動を展開した。学校運営協議会委員の本事業への理解が深まった。 ○幼保小連携では、なかよし集会を2回実施し、園児と児童の交流ができた。小中連携では、中学校見学や中学校教員が来校し、中学校生活について6学年児童が話を聞く機会をもつことができた。 | A |

2 今年度の成果と次年度に向けた課題

- 校内研修テーマ「児童の思考を可視化し、学びをつなぎ、深める学習指導」～ICT機器の効果的な活用場面の工夫を通して～にそって、算数科を中心として外部講師を招いて研修を行い、全学級で研究授業を実施した。ICTの効果的な活用として、思考を可視化することにより児童間で学びを共有しやすくなり、話し合いが活性化した。また、デジタルポートフォリオによる指導と評価の一体化は学びを深め、授業改善と授業力向上に取り組むことができた。11月には、本校で小美玉市教育研究会指定校発表会を開催し、その成果を市内に発信することができた。
 - 特別活動において、スポーツフェスティバル、STOPいじめ集会、各種委員会の発表など多くの場面で児童が主体となって企画・運営する取組が活発に行われた。堅倉TVに代表される取組を通して、情報を学校全体に発信することで、情報発信の決まりを守ろうとする児童やみんなの役に立ちたいと考える児童の割合が増加した。
 - 学校運営協議会設置2年目である本年度は、地域の人々と目標(目指す子供像)を共有し、学校・家庭・地域が一体となって「地域と共にある学校」を目指した。学習支援(生活科・家庭科・総合的な学習)や読み聞かせ、見守り等について昨年度以上に家庭・地域からの協力を得ることができた。特に9月に実施された防災訓練は、住みよい堅倉をつくる会(地域コミュニティ)の方を中心に、消防署や社会福祉協議会、市役所、区長会、老人会、PTA、育成会、げんでん、石岡警察署など多くの団体の協力を得て実施できた。中でも東日本大震災の体験を地域の方から、直接小グループで聞いたことで、児童は地域の一員であるという意識と防災に関する当事者意識をもつことができた。
- ▲家庭学習のA基準達成は、昨年度は60%であったが本年度は74%と上昇した。しかし、まだ習慣化できていない児童への対応が課題となっている。今後も、家庭学習に対する主体的な取組を促す指導や目標設定などに取り組む必要があると考える。

3 保護者や地域への皆様へ

保護者や地域の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本校では「目標に向かって自ら考え がんばる堅倉っこの育成」を目標に、教育活動に取り組んできました。スポーツフェスティバルやあいさつ運動、STOPいじめ集会、異学年交流である縦割り班活動など、様々な行事や集会活動で児童が主体となって企画・運営を行いました。

学力向上の面では、校内研修テーマを「児童の思考を可視化し、学びをつなぎ、深める学習指導」～ICT機器の効果的な活用場面の工夫を通して～とし、算数科を中心に外部講師を招いて研修を行い、全学級で研究授業を実施しました。ICTの効果的な活用として、思考を可視化することにより児童間で学びを共有しやすくなり、話し合いが活性化しました。また、デジタルポートフォリオによる指導と評価の一体化は学びを深め、授業改善と授業力向上に取り組み、11月には本校で小美玉市教育研究会指定校発表会を開催し、その成果を市内に発信することができました。「授業がよく分かる」と回答した児童は95%と高い評価でした。

学校運営協議会では、地域の方々と目標(目指す子供像)を共有し、学校・家庭・地域が一体となって「地域と共にある学校」を目指しました。本年度は、特に登下校時の見守り活動や学習支援ボランティアとしてより多くの支援をいただきました。具体的には、田植えや稲刈り、読み聞かせ、家庭科でミシンや調理実習、堅倉地区探検(校外学習)の引率などの協力を得ることで、地域社会、地域の人々との触れ合いにより、児童は地域の一員としての自覚が芽生え、体験を通じた学びが広がり、深まりました。こうした取組を支援していただいた学校運営協議会委員様には、地域の教育力を活かし、地域の方々と学校をつなぐコーディネーターとしてご尽力いただきました。地域の様々な団体様やPTA、育成会など多くの保護者の皆様の温かなご支援は、目標に向かってがんばる児童にとって大きな力となりました。皆様方の多大なるご支援に、この場をお借りしまして御礼申し上げます。

来年度においても、堅倉小学校が子どもたちの健やかなる成長を実現する学び舎となるよう努力していく所存です。今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。